

これまでの品目検討の経緯

- 令和5年度：品目の統合・分割検討、品目素案の策定
 - －財分野の生産物分類
 - 導入に伴う関係性を確認・検討
 - －サービス分野の生産物分類
 - ユーザーからの要望を把握・検討
- 令和6年度：策定した品目（素案）のうち、分割品目について検証
 - －結果の影響が大きい、経済構造実態調査対象企業・関係団体に
記入可能性等のヒアリングを実施
【企業へのヒアリングについて】
対象品目の取り扱いが公開情報（企業HP等）から確認できる
企業に依頼

⇒詳細は、資料4－2（財分野）、資料4－3（サービス分野）で御説明